



くぼた校通信

地域と連携し、地域に貢献する姿を目指して

3月2日(月)、卒業生13名がくぼた校を巣立っていきました。くぼた校の取組の柱の一つに「地域との連携」があります。くぼた校の生徒たちは、入学から卒業までの3年間、勿来高校や勿来地区など地域の皆様と一緒に学習し、かかわり合う機会が数多くあります。その一つが勿来駅の清掃活動です。卒業を前にした3年生が後輩たちに、その清掃活動を引き継ぐ姿を目にし、生徒たちの中に「人の役に立とうとする気持ち」が育まれていることを感じました。地域の皆様との様々な経験が、生徒たちの成長を、そして地域の一員であるという自覚を促して下さっています。

これからもくぼた校は、生徒たちが“地域の一員”として“役割を果たそうとする意識・意欲”を育み、地域に貢献する姿を目指して、様々な教育活動に取り組んでまいります。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

令和元年度卒業式

3月2日(月)に卒業式が行われました。保護者や教職員等に見守られながら、堂々と卒業証書を受け取り、13名の生徒がくぼた校を巣立っていきました。

在校生からは卒業生へ心温まる言葉を贈られ、卒業生代表として佐藤優麻さんが学校生活での思い出や、これからの学校を在校生たちに託していくことを答辞で伝えました。



卒業生はくぼた校で地域や勿来高校生徒の交流や様々な行事等を経験してきました。その経験をこれから始まる新たな生活の中で、存分に発揮して、活躍していくことを期待しています。

ご卒業おめでとうございます!



水防訓練

2月10日(月)に水害への意識を高めることを目的として、水防訓練を実施しました。これまで、火災や地震を想定した避難訓練は行ってきましたが、水害についての訓練は初めての試みでした。学校付近を流れる蛭田川の水位上昇による洪水を想定した訓練でしたが、避難経路や避難場所等を確認しながら落ち着いて行動することができました。日頃よりハザードマップを確認し、避難経路や避難場所を把握しておくことの重要性について理解し、災害から命を守ることにについて考える良い機会となりました。



スーツ着こなし講座（2・3学年合同）

「洋服の青山」の販売士の方を講師にお招きして、TPOに合わせた衣服や着こなし、身だしなみやビジネスマナーを学習しました。

実際にスーツを着たり、ネクタイやコートの紐を結んだり、お辞儀の角度、立ち居をしたときの姿勢を学び、生徒たちは就職活動の場面や社会の中で、すぐに生かせるお話を伺うことができました。



スローエアロビック体験



地域フィットネス・blossomの秋山氏を講師にお迎えして、12月20日（金）より合計3回、全体体育の時間にスローエアロビックを体験しました。運動が苦手な生徒も、音楽に合わせて楽しく体を動かし、とてもいい運動になりました。

芸術鑑賞会

2月4日（火）に芸術鑑賞会「アフリカ民族音楽」が行われました。アフリカンエクスプレスの方



々によるジャンベなどのアフリカの様々な楽器を使った演奏と、ダンスを鑑賞しました。

途中には、くぼた校生もアフリカンな模様の布を身にまとい、演奏やダンスと一緒に参加して、楽しい時間を過ごすことができました。

作業製品販売会

2月13日（木）、14日（金）にSCマート窪田店にご協力いただき、くぼた校作業製品販売会が行われました。地域の方々をはじめ、多くの方々に購入していただき、工芸班・製作班、両班のすべての製品が完売致しました。ありがとうございました。お客様からいただいた様々なご意見を参考に、今後の製品改良・開発に生かしていきたいと思っております。今後もくぼた校の作業製品にご注目ください。



生徒会役員選挙

2月7日（金）に立会演説会・投票が行われ、新生徒会役員が決定しました。緊張感漂う中での演説でしたが、立候補者は、応援者からの熱いエールを受け、自分の長所や役員として頑張りたいことを堂々とアピールしていました。投票する生徒については、当日だけでなく事前のシンポジウムや政見放送も踏まえて誰に投票するか選んだようです。



「選挙を体験してみよう」

いわき市選挙管理委員会による出前講座で、実際の資器材を使った投票を体験しました。生徒からは「正しい投票の仕方が分かった」「選挙権を持ったら忘れず投票に行きたい」などの感想が聞かれました。選挙の大切さについて考える良い機会となりました。

